

授業概要(シラバス)

※下記科目は全て実務経験のある教員等による授業科目

項目	内容	
授業科目	CAD 実習	
授業方法	実習	
実施期間	通年	
コマ数/週	3	
達成目標	AutoCAD での図面作成スキル獲得	
授業内容 (サブタイトル)	各種 UI	絶対座標、相対座標
	展開図	多角形
	3 面図	フィレット
	図形分割	寸法
	平面図	レイアウト
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	Office 実務 II	
授業方法	実習	
実施期間	通年	
コマ数/週	3	
達成目標	MOS Word 365 & 2019Expert 試験対策	
授業内容 (サブタイトル)	Word の機能と操作方法	文書のオプションと設定管理
	高度な編集や書式設定	文書のコンテンツ置き換え
	段落レイアウト	スタイル作成、管理
	ユーザー設定のドキュメント	索引、図表一覧の作成
	文書パーツの作成、変更	フォーム、フィールド
	デザイン要素の作成	マクロの作成、変更
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	サーバー運用管理	
授業方法	座学、実習	
実施期間	前期	
コマ数/週	2 コマ	
達成目標	サーバーのコマンド操作や設定、運用管理を学ぶ	
授業内容 (サブタイトル)	基本的なコマンド	bash の機能
	Vi エディタについて	ファイルパーミッションについて
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	データベース実習 II	
授業方法	実習	
実施期間	前期	
コマ数/週	2	
達成目標	SQL を学びデータベースの操作を実務レベルで活用する	
授業内容 (サブタイトル)	データベース	RDB の基本構造
	データ型とリテラル	dokoQL、SQL 文
	リテラル記述に関するルール	FROM、テーブル名、AS
	SELECT 文	UPDATE、SET
	UPDATE 文	INSERT、INTO、VALUES
	DELETE 文	WHERE 句での絞り込み
	INSERT 文	複数条件式の組み合わせ
	演算子	DISTINCT、ORDER BY
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	プログラミング実習Ⅱ	
授業方法	実習	
実施期間	通年	
コマ数/週	6	
達成目標	VBA プログラミング	
授業内容 (サブタイトル)	マクロ	Excel、VisualBasic、VBA
	マクロ記録と VBA	Visual Basic Editor
	VBA とプロシージャ	繰り返し構文
	セル範囲の操作	条件分岐
	演算と変数	データ操作
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
授業方法	座学	
実施期間	通年	
コマ数/週	3	
達成目標	社会人に向けてビジネスマナーの学習、就職活動の準備	
授業内容 (サブタイトル)	ビジネスマナー学習	履歴書作成
	面接対策	自己PR作成
	志望動機作成	メール文作成
	電話対応学習	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に1回の評価としてA・B・C・Dの4段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年2回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	情報セキュリティ	
授業方法	座学	
実施期間	後期	
コマ数/週	2 コマ	
達成目標	ネットワーク、攻撃の種類、セキュリティに関する知識や技術について学ぶ	
授業内容 (サブタイトル)	情報セキュリティとは	リスクとは
	リスクへの取り組み方	リスクアセスメント
	リスク対応とリスク受容	情報セキュリティポリシーの策定
	情報セキュリティマネジメントシステム	プロトコルとは
	ネットワークの種類	データリンク層のプロトコル
	IP の仕組み	ルータの役割
	ネットワーク層のプロトコル	トランスポート層のプロトコル
	アプリケーション層のプロトコル	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	情報処理技術者講座Ⅱ	
授業方法	座学	
実施期間	前期	
コマ数/週	27	
達成目標	デジタル人材に求められる必要な知識・技能	
授業内容 (サブタイトル)	基礎理論	プロジェクトマネジメント
	コンピュータシステム	サービスマネジメント
	技術要素	システム戦略
	開発技術	経営戦略
	アルゴリズム	企業と法務
成績評価方法	科目毎に、その終了時に1回の評価としてA・B・C・Dの4段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年2回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	Web デザイン実習	
授業方法	座学	
実施期間	後期	
コマ数/週	4	
達成目標	Web サイトのコーディングからレスポンスデザインを学び、IT 業界で活躍できるスキルを習得することを目指します	
授業内容 (サブタイトル)	コーディング	開発環境
	コーディング	リスト
	リンク	画像配置
	フォーム	表
	構造化	CSS
	開発者ツール	基本プロパティ
	ボックスモデル	Flexbox
	グリッドレイアウト	Web フォント
	アニメーション	レスポンスデザイン
	マルチデバイス対応	UI/UX デザイン
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	経理実務	
授業方法	座学	
実施期間	後期	
コマ数/週	2	
達成目標	基本的な財務諸表分析と原価計算の仕組みを理解する	
授業内容 (サブタイトル)	原価計算	原価計算の基礎
	〃	原価計算の流れ
	〃	C V P 分析
	〃	予算実績差異分析
	〃	製品原価の計算
		損益計算書の作成
	財務諸表分析	貸借対照表分析
	〃	損益計算書分析
	〃	キャッシュ・フロー計算書分析
	〃	財務分析の各指標
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	課題研究	
授業方法	座学	
実施期間	前期	
コマ数/週	3	
達成目標	検定取得勉強、就職活動の準備	
授業内容 (サブタイトル)	検定取得に向けての勉強	企業研究
	履歴書作成	自己 PR 作成
	面接対策	志望動機作成
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	